

身体拘束「最小化」宣言

— 縛らない医療を目指します —

患者様の尊厳と安全を守るために、
当院では「できるだけ身体拘束を行わない医療」に取り組んでいます。 病院長・看護局長

身体拘束は「最後の手段」です。

安全がどうしても確保できない場合に限り、最小限で実施します。

1 環境の工夫

- ・ ベッドの高さ調整や
見守りセンサーの活用
- ・ 転倒しにくい環境づくり
を行います。



2 早期発見とケア

- ・ 不安や痛み、眠れなさ
などのサインに早く
気づき、安心できる
関わりで支援します。



4 最後の手段として対応

- ・ 安全がどうしても確保
できない場合に限り、
必要時のみ一時的に
最小限で実施します。
- ・ 常に見直し、早期解除を
目指します。



患者様の安心と
尊厳を守るために

3 チームで検討

- ・ 医師・看護師・リハビリ職・
薬剤師・社会福祉士など
多職種で、最適な方法を
話し合います。

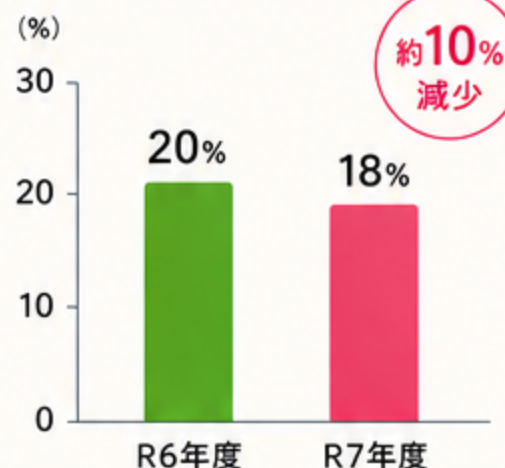


私たちは、日々のケアの中で「縛らないケア」を最優先に考え、
患者様一人ひとりに合わせた支援を行っています。

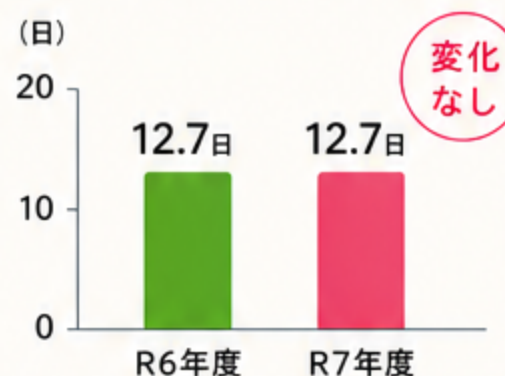
当院の取り組みの成果

身体拘束率

(入院延べ患者数に対する割合)



身体拘束解除までの平均日数



※数値は一部を抜粋しています。

継続して改善しています

転倒やルート類を守れなかった時のデメリット

転倒したときのリスク



- ・ けが(骨折や頭のけがなど)
- ・ 痛みや治療の長期化
- ・ 入院期間の長期化
- ・ 自分でできることが減ってしまう

管(点滴など)が外れたときのリスク



- ・ 治療が中断してしまう
- ・ 出血や感染につながる可能性がある
- ・ 痛みやつらさが増すことがある
- ・ もう一度処置が必要になる

ご家族の皆様へ

患者様が安心して過ごせるよう、私たちはご家族と一緒に考えたいと思っています。

❤️ 落ち着く習慣や
好きなことを
教えてください

その方らしい生活を
サポートするための
大切な情報になります。



💬 「いつもと違う様子」に
お気づきの際は
お知らせください

早めの気づきが、安心や
転倒予防につながります。



👥 ご不安やご希望は、
いつでもご相談ください

どんな小さなことでも、
適庫なくスタッフに
お声がけください。

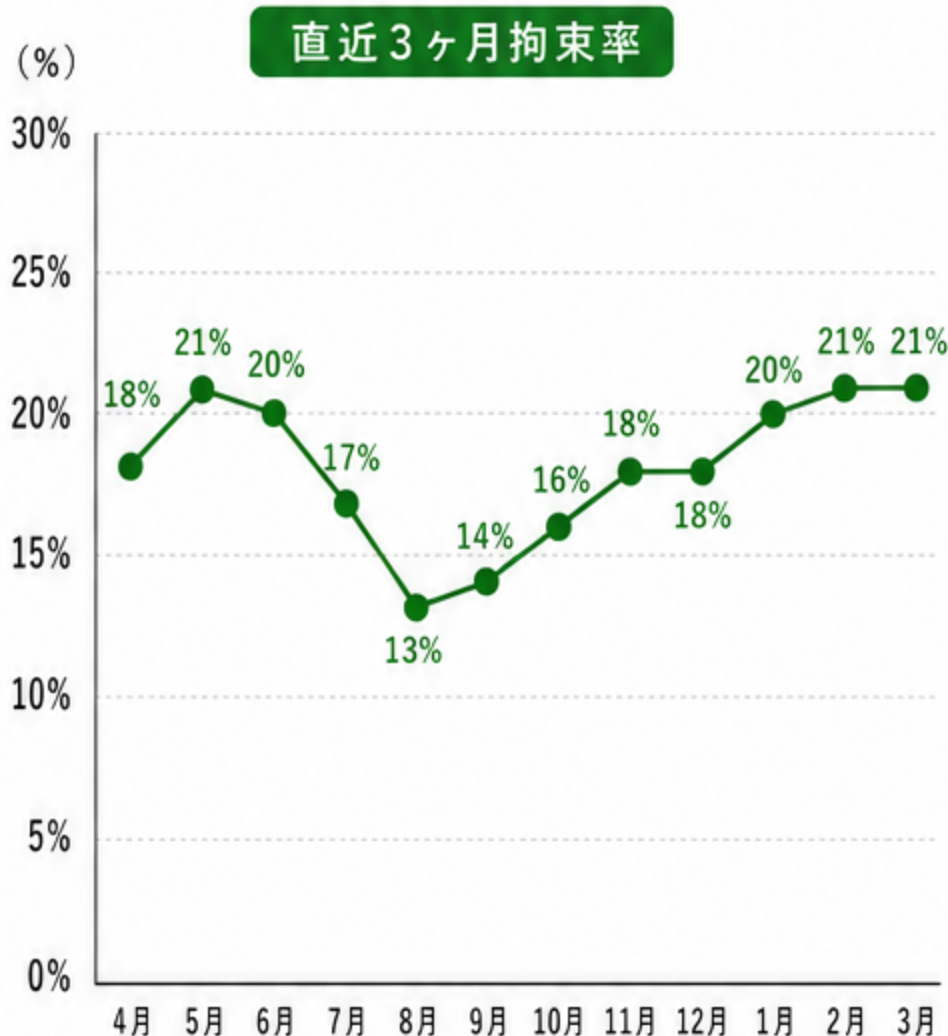
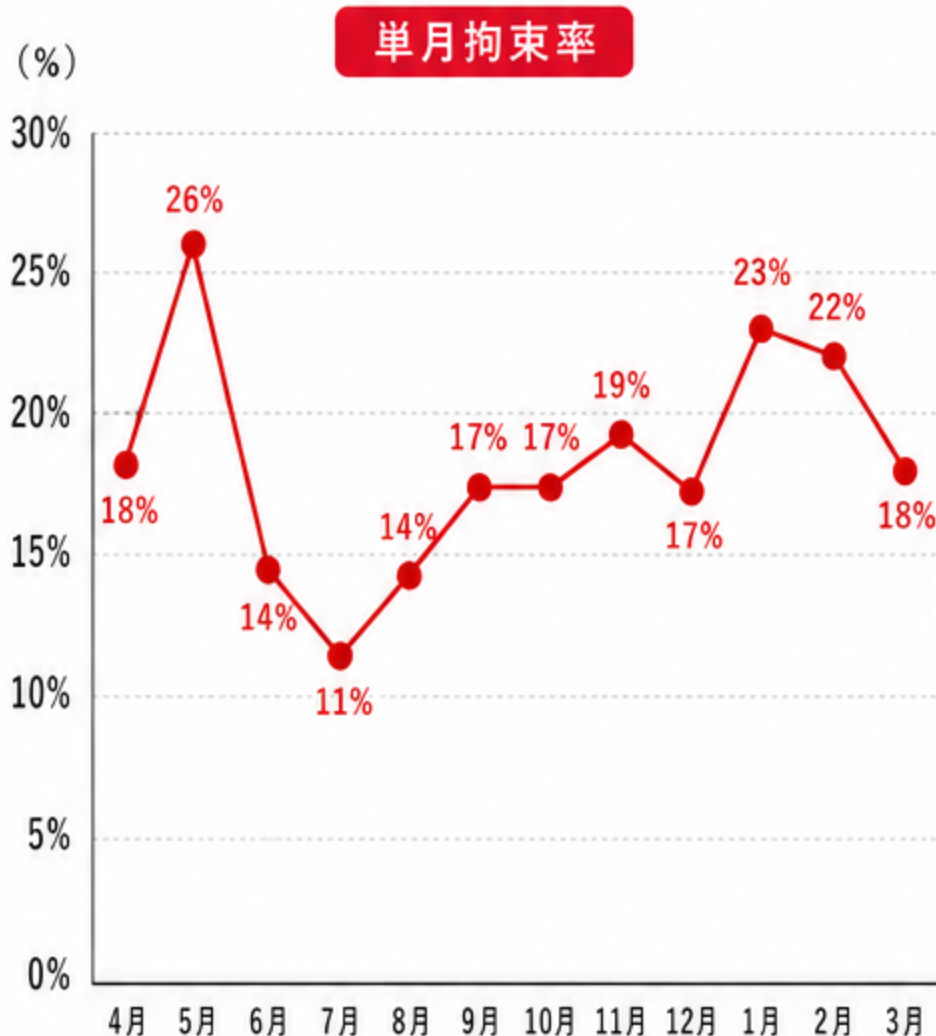


実績と相談サポート窓口のご案内

— 数字で見る取り組みと、いつでも相談できる体制 —

患者様とご家族が安心して過ごせるよう、身体拘束の削減に取り組んでいます。

当院の身体拘束率の月別推移（令和7年度）



継続的な取り組みにより、身体拘束率の抑制に向けた取り組みをこれからも続けてまいります。

ものわすれ看護相談



入院による環境の変化で起こる混乱（せん妄）や、認知症に関する不安やお困りごとについて、専門の看護師がご相談をお伺いします。

- 💡 急に様子が変わり、つじつまの合わないことを言う（せん妄）
- 🏠 退院後、自宅での生活や介護の仕方が不安
- 💖 患者様の「いつもの様子」や「落ち着く習慣」を伝えたい

お気軽にご相談ください

- ☎ 連絡先：病棟スタッフまでお声掛けいただくか、代表番号へご連絡ください。
- ☎ 代表番号：0884-72-1166
- 📅 利用可能時間：13:00 ~ 17:00（曜日は要相談）



私たちは、患者様の安心と安全を第一に考え、できる限り身体拘束を行わないケアを目指しています。皆様のご理解とご協力が、患者様のよりよい療養環境につながります。